

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 3 月 31 日

仕事の内容	外国人学校児童・生徒保護者負担軽減事業補助金交付事業				
担当部署・課長名	学校教育	課	学務	係	課長名 岩本 尚史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 4	教育振興費	事業 1	外国人学校児童・生徒保護者負担軽減事業
-----	------	-----	-----	-------	-----	-------	------	---------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	外国人学校に在学する児童生徒の保護者	→ 外国人学校に在学する児童生徒の保護者で、補助を希望する外国人の保護者
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	補助金が交付される。	→ 補助金交付率
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
	外国人学校に在学する児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、市報等を通じて事業内容を広報し、申請者には補助金(児童生徒1人当たり18,000円)を交付する。	→ 補助金交付者数

2 指標の推移		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標	
	対象指標	①の数値	人	4 (児童生徒数6)	3 (児童生徒数5)	2 (児童生徒数3)		
	成果指標	②の数値	%	100	100	100		
	目 標	②の目標値	%			100	100	100
		目標値設定の考え方	外国人学校に在学する児童・生徒の保護者負担軽減を図ることが目的である。					
活動指標	③の数値	人	4	5	3			

3 経費	事業費		円	108,000	90,000	54,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	108,000	90,000	54,000	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人	0.00	0.00	0.00	
		職員人件費(再任用以外)	円	417,000	414,900	411,650	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	525,000	504,900	465,650		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	本事業は、外国人学校に在学する児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、教育費について補助金を交付するものである。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	市報、ホームページを通じて広く申請者を募集している。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	特になし。

仕 事 の 内 容	外国人学校児童・生徒保護者負担軽減事業補助金交付事業			
担当部署・課長名	学校教育	課	学務	係 課長名 岩本 尚史

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。		
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	特になし。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 現状においても成果水準を満たしていることを考慮すると、今後も現状どおり事業継続していくことが重要である。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
	特になし。		
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成 果	成果を維持する。		経 費
			仕事の経費は維持する。